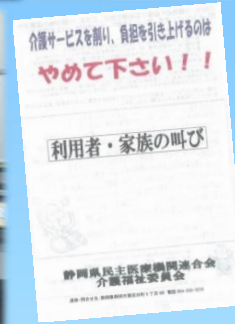
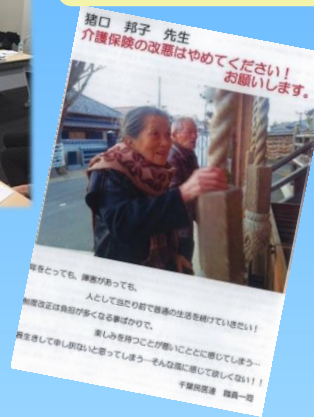


# 2月8日介護ウェーブ国会行動を行いました。

今年最初の介護ウェーブ国会行動は、全国から15県連75名の参加で行われました。最初に、堀内照文衆議院議員より、介護をめぐる情勢の報告がありました。その後、介護ウェーブ2016で取り組んで来た「介護保険制度の見直しに対する請願署名」8万6699筆を提出しました。その後、全日本民医連の林事務局次長が介護保険見直しをめぐる情勢の学習会をおこない、午後から各県連で作った資料を手に要請を行いました。77議員を訪問し、本人と話できたのは6議員でした。



千葉民医連作成



静岡民医連作成

民進党の徳永エリ議員には介護現場の実情を訴え、議員からは「自分の友人達は親を見ていかなければならないけれど、見ることで働けなくなる人達がいることを教えていただいた、介護職員の地位を上げることは、利用者にとっても大切なことを今後も訴えていく」と話していました。



民進党の菅直人参議院議員は、事務所の中に入れてもらい、懇談することができました。議員は「安倍政権の金の使い方は問題だ。社会保障にまわる様になければならない」と話していました。

日本共産党の岩渕友参議院議員も、すぐに国会質問に出なくてはいけないということでしたが、事務室に入れていただき、本人に介護現場の現状を伝えることができました。



民進党の阿部知子衆議院議員は、本人とは会えませんでした。秘書が「介護職員の待遇を良くすることが重要。大変な仕事なのに給料が低いのはおかしい。議員にしっかり伝えます。」と話ができ、後日紹介議員になると確認しました。

民進党の水戸将史衆議院議員からは、要請項目4つに賛同していただけるということで、本人が紹介議員になると約束してくれました。

日本共産党の倉林明子参議院議員は、事務所に入れていただき、訪問した全員に政府の「改革工程表」に基づいて、今後のことについての説明を受けました。現状についても話をしっかり聞いていただきました。

日本共産党の畑野君枝衆議院議員は、こちらの訴えをしっかりと聞いてくれました。要請に対して「紹介議員にももちろんなります」とお答えいただきました。

#### 参加した職員の感想

○日頃職場でまわってくる署名に深く考えることなく記入していたが、今回初めてまとめて提出するのを見て、とても意味のあるものだと思えた。

○初めて参加して、議員本人に直接利用者、家族の声を届けることができ、もっとたくさん声を集めたいと思った。

○初めての参加で、議員に会ったとき緊張してしまい言葉が詰まることもあったが、最後まで話しを聞いていただく事ができた。

○人手不足や賃金の安さに共感していただけたり、一緒にたたかっていきますと言ってもらえたり前向きな話が聞けた。

○議員本人と1人でも話すことが出来て良かった。また参加したい。

○初めての参加で、どこか他人事のような感覚があったが、意識を変えるきっかけになった。

○福祉の現場で働く者として、現場だからわかる問題点を伝えることは私たちの責務だと思いました。

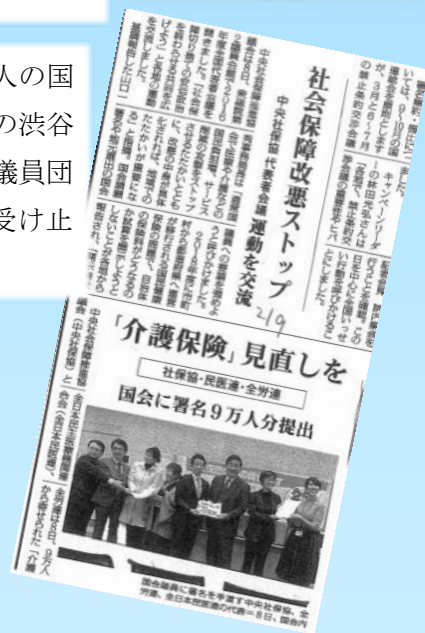
○今までは県連事務局長や介護部長について行く感じだったが、今回は介護職員が先頭に立って取り組んだ。利用者の写真入りのアンケートの写しを作って持って行き、肩の力の抜いた話が出来た。

○議員に共に頑張ろうと言ってもらえたりととても貴重な体験でした。

○このような行動が、TVのニュースだけではなく、自分たちで出来るものなのと思った。



15時20分からは、全日本民医連・中央社保障・全労連の3者で、日本共産党の5人の国会議員へ署名9万人分を手渡しました。手渡しの際、東京勤労者医療会・代々木病院の渋谷いずみさんが「介護現場の切実な声を国会の議論に反映させて下さい」と訴えました。議員団は、「国の責任で命をまもる当たり前の政治を作りましょう。皆さんの要求をがっちり受け止め、スクラムを組んで頑張りましょう」と表明しました。



2月22日にも、介護ウェーブ(全日本民医連・社保協・全労連)国会行動を衆議院第2議員会館で11:30~13:30に行いますので、是非ご参加下さい。この日に全ての署名を手渡しますので、余すことなく全日本民医連介護・福祉部宛に送って下さい。

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：東、小又  
TEL：03-5842-6451/FAX：03-5842-6460  
E-mail：[min-kaigo@min-iren.gr.jp](mailto:min-kaigo@min-iren.gr.jp)